

多宝会新聞

発行所
 社会福祉法人多宝会
 本部事務局広報室
 福島市本町4-23
 024-522-6611
 mail
 honbu@
 tahokai.
 jp

タイの厚生労働局や医師・看護師一行が法人を視察



去る4月23日「まちなか宝生園」にタイの厚生労働局総合病院とバンコク首都圏長大学の医師や看護師の視察団約40名が訪れた。彼らの目的は、タイの福祉・医療サービスの向上や介護機器の活用も含めたケアワークの研鑽、介護保険制度の仕組みなどを学ぶこと

日本の社会保障制度と多宝会のケア手法を熱心に研鑽

である。貴団体は、日本の高齢者福祉の視察研修を数回にわたり開催している。今回は、6日間の日程で、秋田、花巻、石巻、山形の大学や研究機関、病院、施設等を視察し、福島入りをした。土湯温泉で一泊し、花見山を観光してから「まちなか宝生園」に到着。8階こころホールで、多宝会スタッフによる日本茶と羊羹での和風のおもてなしで歓迎。はじめに加藤理事長より、多宝会の歴史や現在の取り組みについて通訳を交えて説明。その後、2班

に分かれて施設見学を行なった。特養ユニットでは、リビング、個室とたくさんのお写真をカメラにおさめ、「部屋の広さはどのくらいか」「車いすの方は何人か」「家具の配置は」など、熱心な質問が相次いだ。デイサービスでは、ご利用者が手作りのタイの国旗を振って大歓迎。写真撮影や「上を向いて歩こう」の合唱を行い、最後にご利用者から手作りの爪楊枝入れと折紙の親子鶴がプレゼントされた。短い時間ではあったが、ご利用者とタイの視察団の交流は終始なごやかな雰囲気で行われた。施設見学を終え、その後の質疑応答では、「介護負担の割合」「就業時間」「入居費用」など、終了時間いっぱいまで活発な質問が飛び交い、関心の高さが伺えた。研修終了後にはタイの視察団より、お礼に象をモチーフにした高貴なカップが加藤理事長に贈呈され、記念撮影となった。

現在、タイでは急速なペースで高齢化が進んでいる。そのため、高齢化先進国である自立

を促す日本の介護技術の導入や日本式の介護施設の建設が進んでいる。その一方「高齢者の面倒は家族で見るのが当たり前」という考



えが根深くあり、まだまだホームでの生活をためらう高齢者が多い。日本でも、ためらう高齢者、ご家族は多いが、介護保険法が制定されてから、徐々にだが施設入居への抵抗が減りつつある。この視察をもとにタイでも、いつかはホームで



生活しても良いという考えが増えることを願う。いずれの国の人々にも老いはある。このように日本式の介護を取り入れる国もあれば、福祉国家フィンランド式を取り入れる国もある。いずれにせよ、その国々の一時代を切り開いて来られた社会の宝である高齢者の皆様に、世界規模で支援の手を差し伸べる好機として参りたい。

第3回定時評議員会、第11回理事会開催

去る6月19日、まちなか宝生園こころホールにて「第3回定時評議員会」が開催された。平成30年度の事業報告、決算報告等を評議員の皆様に報告し、法人経営を判断していただく会議である。はじめに加藤理事長より「高齢者の方が安心・安全に暮らせる社会をつくるのが我々の使命である。これからの職員ともども向上に努めていく」と挨拶があった。その後、議案審議に入った。平成30年度の「事業報告」「決算報告」と議決され、本会最後の議案である「役員改選」では、改めて現役員の統括が議決され、引続き報告事項となった。苦情解決第三者委員か



らの報告では「心の通う介護であれば、自ずとお互いの距離が近くなる。これからもよりよく願います」と言葉を頂いた。その後、報告第5号を経て、評議員会の一が終了した。その後「第11回理事会」が開催され、現理事長、現業務執行理事、現苦情解決第三者委員が、改めて統括が議決された。最後に、監事議評では、「ご利用者の健康だけでなく職員健康にも気をつけて前進して下さい」と言葉を頂き閉会となった。

2018年度福島県医療福祉関連教育施設協議会県北地区第2回研修会



去る3月19日まちなか宝生園こころホールにて「2018年度福島県医療福祉関連教育施設協議会県北地区第2回研修会」が開催された。この研修会は、職種間で連携・協働する能力を学生時代から養うため

に行われている。今回は、県北・相馬地区の大学、短大、看護専門学校等から教師を含め約20名が参加し、認知症ケアと予防に役立つ「料理療法」の手法を取り入れた研修会が行われた。県北地区会長 渡邊艶子様、安西施設長の挨拶の後、早速まちなか宝生園ご利用者と一緒に「お好み焼き」作りを開始。学生、ご利用者ともに笑顔があり、楽しみながら料理をした。その後、参加した学生同士の交流、今回の研修の検証を行い、新しい知見を得ることができ、充実した研修会となった。

地域ケア会議

去る3月19日西支所にて、西部地域包括支援センター主催で、佐倉下地区、上倉地区、佐原地区を対象に「高齢者の安心した生活を考える」をテーマに地域ケア会議を開催した。地域の方々と事業所とが直接情報交換ができたため、今後の地域作り活動へ大いに役立つ会議であった。



防犯講習会

去る5月20日まちなか宝生園にて、福島県警察署尾形警部、鈴木巡査のお二人を講師に、なりすまし詐欺など実例を交えながら危機管理の講習会が行われた。また、福祉施設での事件発生状況なども学び、実際にさまざまな使用方法や突然襲われた場合の対処方法も学んだ。



桜梅桃李

社会の宝である高齢者の皆様の人生を支援する社会福祉法人としては、近年増加の一途を辿る「高齢ドライバー」による「交通事故」のニュースに胸を痛めずにはいられない▼警察庁による交通事故のデータを年齢別で細かくみると、実は65歳以上の事故件数より65歳未満の事故件数の方が断然高く、倍近く発生していることが分かる。それでも高齢者による交通事故が大きくクローズアップされてしまうのは未曾有の高齢化が進む日本の今の時代を象徴するかのようである▼2019年版の「高齢社会白書」が示された。全国の60歳以上を対象にした内閣府の調査で、死亡後に発見される「孤立死」について、3人に1人が「身近に感じると」回答している▼事故を未然に防ぐセンサーや留守・戸締りを任せることのできるIoT技術などの先進のテクノロジーをもって、こうした高齢者の事故や孤立死を防ぐことが最も有力な手立てなのかもしれない。しかし、テクノロジーの力では、仮に「防ぐ」ことは出来たとしても「起こさない・起こさせない」を実現することは困難である。そこには、やはり「人と人との関わり」や「心の交流」が不可欠であろう▼「人間は人間の中でしか成長できない」という言葉があるが、「病」や「老い」といった避けておろすことができない人間の宿命も、人間との関わりの中でしか癒すことは出来ないであろう。

多宝会のロゴマークは漢字の心の文字をデザインしました。人としての振る舞いは心の働きによることから、その在り方こそが大切であると考えています。貴は奉仕、育は信頼、赤は勇気を表しています。

施設的话题をいち早くお届けする

多宝会ホットライン

多宝会の基本理念は「日々に心・日々に信・日々に新」を掲げています。誠実な心と行動によって信頼が築かれ安心の日々をお過ごしいただけると考えています。スタッフ一同、明るく、優しく、朗らかに、一日一日を大切に、人と地域を元気にしたいと思っています。

土湯宝生園

ケアハウスでお花見

岳温泉の桜坂、鏡ヶ池に花見に出かけました。満開ではありませんでしたが、安達太良山系と青い空、仄かな桜色が池の鏡面に写しだされ、皆様からは「桃源郷のようだ」という声も聞かれました。



デイサービスで桜餅作り

お昼ご飯に桜餅を作りました。赤く色のついたご飯を潰して餡子のをせて丸め、桜の葉で巻いて、仕上げに桜の塩漬を載せました。「桜餅は初めて作ったけど美味しく出来た」等と皆様喜んでいました。



ケアハウス大運動会

紅白に分かれ7種目の競技を行う「ケアハウス大運動会」が盛大に開催されました。なかでも応援合戦と玉入れは、歓声と笑いに包まれとても盛り上がりました。昼食には、タコさんウィンナーやから揚げの入った運動会弁当を食べました。



デイサービス春のバイキング

「春のバイキング」を開催しました。稲荷寿司に太巻、かき揚げ、タラの芽の天ぷら、アスパラの肉巻など、沢山の料理が並びました。品数の多さに驚き、何を食べていいか迷いながらもたくさん食べていました。「次回はいつ？」の声もあり、既に次回のバイキングが待ち遠しい方もいらっしゃいました。



アリヴァーレ・ほのぼの宝生園

ひな祭り

今年も素敵な七段飾りを飾りました。お雛様のようにすまし顔で、記念に一枚。「立派なお雛様だね」「綺麗だね」と撮影後は笑顔でした。



お茶会

あづま運動公園に花見に行きました。天気にも恵まれぼかぼか陽気で、青い空が広がり満開でした。その後、園で抹茶と綺麗な和菓子を頂くお茶会を開催しました。室内に桜や春らしいお花を飾り、本格的なお茶を市川リーダーが点て、素敵な時間を過ごしました。



ほのぼのでお花見

桜堤公園へ花見に出かけました。あいにくの寒空の中での花見になりましたが、「素晴らしい」と満開の桜に皆さん喜ばれていました。園に戻ってから、ちらし寿司と花見団子を頂き「私は花よりこっちが楽しかった」という声もあり、笑顔の一日でした。



収穫祭

素晴らしい五月晴れのなか、収穫祭を行いました。今年もプランターでラディッシュを栽培し、収穫しました。その後、浅漬にして、美味しく頂きました。



まちなか宝生園

百寿のお祝い

デイサービスで100歳の誕生日会を行いました。職員手作りのくす玉を割り、ご利用者からメッセージ入りの色紙、花束、お祝いの言葉が送られました。ご本人からは、「まだまだこれから！150歳を目指します」と力強い言葉を頂きました。



デイサービスお花見

あづま運動公園に花見にでかけました。運動公園の花は咲き始めでしたが、途中の車窓から沢山桜や花を見ることができました。現地では、花見より鯉のエサやりに夢中でした。



お買い物イベント

こころホールでお買い物イベントを開催しました。連休中で母の日も近いこともあり、ご家族と買い物を楽しむご利用者、鏡の前でお洋服を合わせ、自分の姿にニッコリされるご利用者、思い思いに楽しむことができました。



交通安全と詐欺対策講習

福島県警察署 交通第一課の方を招き、交通安全講習を行いました。シュミレーションの機械を用いて、実際の状況と同じ体験をし、交通安全の意識を高めました。その後DVDで詐欺被害対策を学びました。ご利用者、職員からは、「またやって欲しい」と声があり、とても勉強になりました。



宝寿木村屋

防災パレード

防災を呼びかける、土湯小学校の子供達のパレードが行われました。施設の前で一曲演奏してくださり、大変感動しました。平成31年3月に休校になったため、土湯小学校としては最後になるかもしれません。



お花見

お天気にも恵まれ、あづま運動公園でお花見をしました。満開の桜を見ながら、おやつで土湯の温泉饅頭を頂きました。皆さん、花を見ている時より、饅頭を食べる時のほうが笑顔が多い気がしました。



土湯こけし祭り

「土湯こけし祭り」を散歩しながら観覧しました。お天気も良く、沢山の人に驚きましたが、お土産も買い、満喫しました。こけしの提灯で飾られた「こけし山車」の前で記念写真を撮りました。



宝寿木村屋音楽会通算50回目

毎月、宝寿木村屋で音楽会を開催して下さる「おねたや」様。今年3月の音楽会で26年4月2日から、ほのぼの、約50分、懐話などを約15曲演奏など約15曲演奏。ご利用者と一緒に歌って盛り上がり、しみじみしている。を拠点にフォード「旅芸人」として26年度の職員総会に歌声と演奏を披露。50回目の日には、色紙があり、ご利用者から感謝の言葉があった。

毎月、宝寿木村屋で音楽会を開催して下さる「おねたや」様。今年3月の音楽会で26年4月2日から、ほのぼの、約50分、懐話などを約15曲演奏など約15曲演奏。ご利用者と一緒に歌って盛り上がり、しみじみしている。を拠点にフォード「旅芸人」として26年度の職員総会に歌声と演奏を披露。50回目の日には、色紙があり、ご利用者から感謝の言葉があった。

50回目を迎えた。平成は毎月夫婦で来てメロや演歌、童謡したり、ご下さるあめ、ご利用者も楽普段は福島市クソングパンで活躍。平成では、素晴らしいお花のプレゼント



心美のささやき

ひまパ(笑)のいー令和元がなっ時代が
まスタ早アのホ初コス過って
時だ！速ン。ストの初コス過って
っ作アチでもーお出か
っンヨもーでか
チっチビ買でか
幸てチビ買でか
せ食ヨだっおけ
なベビけた買は

各種ご相談は各施設までお気軽にどうぞ、見学等も随時お受けしております。

土湯宝生園	024-594-5900	西部地域包括支援センター	024-594-5800
アリヴァーレ宝生園	024-594-0061	土湯宝生園指定居宅介護支援事業所	024-594-5902
ほのぼの宝生園	024-594-0063	湯ったりデイサービス	024-594-5900
まちなか宝生園	024-521-1122	法人本部事務局	024-522-6611
宝寿木村屋	024-594-5122	URL	http://www.tahokai.jp